



発行
シネフィルのぎく事務局
〒289-1324
山武市殿台290-1
山武市成東文化会館
のぎくプラザ
☎ 0475-82-5222

シネフィル のぎく 第35号 2018年7月発行



仲間達に支えられた冒険……
ロバート・ゼメキス監督作品
「ザ・ウォーク」

五月二十六日(土)のぎくプラザにてロバート・ゼメキス監督の「ザ・ウォーク」が上映されました。フランスの大道芸人フィリップが、当時世界一の高さを誇ったワールド・トレードセンタービルにワイヤーを張り、命綱無しの綱渡りに挑んだ実話の映画化作品。無謀な夢を支えた仲間達、犯罪とは言え無言で偉業をたたえる人々。単なる「綱渡り映画」ではない作品に仕上げるのは、さすがのゼメキス監督。この映画こそ、劇場で鑑賞して欲しい作品です。今はもう存在しないビル、いろいろと余韻の残る映画でした。「シネフィルのぎく」は、今後も皆さんに楽しんでいただける作品を選定しお届けします。映画会継続のため、皆さんの応援、ご支援をよろしく願います。



シネフィルのぎく からのお願い

映画を楽しく観るために…



- ①携帯電話、スマホは電源を切るかマナーモードをお願いします。
- ②映画上映中、スマホを見る方がいます。「やめて欲しい」との意見がアンケートにありました。皆様のご協力をお願いします。
- ③エンドロールを最後まで鑑賞している方もいます。ご配慮をお願いします。



試写会に参加しませんか？

シネフィルのぎくでは、年3~4回のワンコイン(500円)映画会を計画しています。良い作品をより沢山の方に鑑賞していただくため、作品が決定すると試写会を開催し、鑑賞して下さった方にPRをしていただいております。試写会への参加は無料です。

参加された皆様には次のことをお願いしています。

- 鑑賞した映画の感想を友人、知人にお伝え下さい。
- 前売り券を5枚程度預かっていただき、鑑賞を希望する方がいましたら、販売をお願いします。

(お預けしたチケットへのノルマはありません。手元に残っても気になさらない下さい。)



詳細は、
のぎくプラザまで

カルタ始めました

印西市 金沢

七月二日「山武市防災カルタ作成実行委員会」が発足しました。「自らの命を守る為に、身の安全を第一に動けるように、防災の事を知って、「災いは他人事ではない」と思いついて、関心を持ち続けて頂きたい。自らの手で皆の手で安全な環境を造っていける未来を」という願いで。

言葉遊びで覚えた言葉は簡単に忘れないものです。マツチ一本火事の元とか。東日本大震災で山武市も被災しました。「大震災がいつ起きてもおかしくない」とは多くの人の認識です。

大人も子供も環境も問わずに読み句を募集する事・災害の被害について知って貰える場所を設ける事を決め、早速八月にその場を設ける事にしました。(問合せ先・山武市福祉センター10475・89・2121)

そして、今(七月六日夜)、「猛烈な記録的大雨により、数年に一度しかないような重大な災害が(西日本を中心に)差し迫っている異常事態である」とのニュースを見ながらこれを書いています。災害は地震災害だけではありません。今日の地震災害だけでなく、異常気象が原因である災害が(異常事態が普通事態に思えてきた程に)起きるようになります。



「パニック映画」というジャンル。その中でも災害パニック映画の需要は減っていかない。天候もあるのねえ。それ、映画だけにしといて。それが、映画も増えまして。でも、突っ込みながらの鑑賞です。これ、私には災害時対応の立派な学びの場なのです。「うちねー、あーで、こーで、この災害はちよつと困るのよー」。

「うちねー、あーで、こーで、この災害はちよつと困るのよー」。「特別だよ。」「ありがと災害さん。」「ねえ、何処を探してもいいよ。」「あ、今までの経験が全部通るよ。」「あ、今までの経験が全部通るよ。」

私は、「この世で一番恐ろしい事は「アパシー(apathy)」だ」と思っています。

社会現象や社会そのものに対する無関心。自己を取巻く日常的な事柄にしか興味をもたない事。「そんな人々が増えていったらこれ以上恐ろしい事は無い。誰かどこか自分の人生すら少しも守れないよ。笑顔を交わせないよ。」と。

教材はお堅い学習で無くても、心があればカルタでも映画でも、雑談からでも。私にとつて映画は立派な教材でもあります。日常生活の森羅万象に関心を！防犯にも関心を！脳にたくさん栄養をね。

私たちと一緒に活動しませんか!!



「のぎくプラザ」主催の映画上映会を企画広報宣伝活動等、一緒に取り組んでくれる高校生以上の仲間を募集しています。映画の好きな方、サークル活動やボランティアに興味のある方、楽しく活動しませんか？



「シネフィル・のぎく」

ワンダー・君は太陽

東金市 清宮

水曜日、今日の映画館は「レディステイ」。女性が千円で鑑賞OK。その他、メンズデイ、シニアデイ、五十歳以上の夫婦割引、高校生友情鑑賞等々いろいろ。

予告編を観て、これは絶対に観たいと思ってた映画「ワンダー・君は太陽」。生まれつき顔に障害のある男の子オギー、宇宙遊泳で使用するようなヘルメットをかぶり自宅で母親(ジュリア・ロバート)と勉強している。五年生になり、両親は社会に馴染むようにと学校に行かせられたり、予想どおり同級生から、かわれたり、いじめにあったり、支えられ、奇跡を起こしてゆく。内容から「お涙ちょうだい映画」になり、来事だ、そこは違った。日常の視線で追ってゆく。見方を教えた、本質も変わってゆく。アカデミー賞でオギー役は、アカデミー賞でオギー役を演じた子。その他の子も皆、生き生きとした作品。子ども達も皆、生き生きとした作品。子ども達も皆、生き生きとした作品。

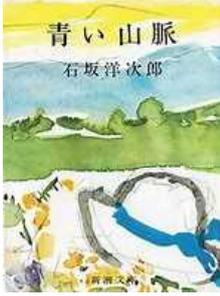


次回上映作品



平成30年度 優秀映画鑑賞推進事業

日本名作映画祭



心に残る名作4作品をお届けします。
35mmフィルム上映です。お楽しみ下さい。

第1部 青い山脈 また逢う日まで



(1949年 172分)



(1950年 109分)



第2部

真昼の暗黒

純愛物語



今井正 監督作品

～上映スケジュール～



- 第1部 ☆青い山脈 10時
- ☆また逢う日まで 13時10分
- 第2部 ☆真昼の暗黒 16時
- ☆純愛物語 18時20分



(1956年 124分)



(1957年 130分)

今井正 (1912.1.8-1991.11.22)

戦後日本映画の左翼ヒューマニズムを代表する名匠である。独立プロ運動の中心人物として数多くの社会派映画を手がけた。キネマ旬報ベスト・テンでは5本の監督作がベスト・ワンに選出されるなど、賞歴も多く作品の評価は高い。日本映画復興会議初代議長でもある。

2018年12月2日(日)
成東文化会館のぎくプラザ
 企画 シネフィルのぎく
 入場料 1部・2部(各2作品)
 各部 **500**円(入替制)

事務局から 

「シネフィルのぎく」第35号いかがでしたか？
 意見や感想をぜひお聞かせ下さい。
 映画会についての要望もお知らせ下さい。
 お待ちしています。
 成東文化会館のぎくプラザ
 ☎ 0475-82-5222

感想やお便りは
 メールでもOK!です。
 n-bunka@city.sammui.g.jp



うははののいが鑑まる賞りす映ンっ夏
 ゼおなき霧ま大賞すD出、か画夕ば休
 に届なく困せきし。V来交？。1いみ
 足けなプ気んなてでDま通近皆ネ。
 をでかう。テ欲もやせ費くさッテ今
 運き上ザ。感動のしビいたッ。かあ、でビも
 んま映の度合いい映ね画信待出映でしジそ
 下。き画の度合いい映ね画信待出映でしジそ
 さどま会い映ね画信待出映でしジそ
 うせ、がは画。はでてか画鑑ておう
 (そん新い音館い、鑑ばけ館賞い、な
 たのがしい響にく映賞、ながしる新映
 あぎ、いますとはら画はしいなて話聞画
 ちく感作す会か画館でんとくい題やが
)プ動。場な面でき夕鑑なまのイ

あおぞら

